

```
<HTML>
<HEAD> <TITLE> 外国為替及び外国貿易法第16条第1項等 </TITLE> </HEAD>
<BODY> <PRE>
  【書類名】 支払等許可申請書
  【提出日】
  【あて先】 経済産業大臣殿
  【提出者情報】
    【氏名又は名称】
    【住所】
    【担当者】
    【電話番号】
  【適用条文】 外国為替及び外国貿易法第16条第1項から第3項まで又は第16条の2
  【様式番号】 001
  【許可を受ける義務を課した法律の根拠条文】
  【支払等の内容】
    【支払又は支払の受領の別】
    【支払等の項目】
    【支払等の金額】
    【支払等の時期】
    【支払等の金額の算出方法】
  【支払等の相手方】
    【支払等の相手方の氏名又は名称】
    【支払等の相手方の住所・居所又は所在地】
  【添付情報】
    【添付資料】
      (申請の理由を記載した書類)
</PRE> </BODY> </HTML>
```

注 意

- 1 1行は36字詰めとすること。
- 2 「【氏名又は名称】」の欄には、法人にあっては、名称を記録し、「【氏名又は名称】」の欄の次に「【代表者】」の欄を設けて、その欄に代表者の氏名を記録すること。
- 3 文字は、日本工業規格X0208で定められている図形文字並びにX0211で定められている制御文字のうち「復帰」及び「改行」を用いることとし、図は用いてはならない。  
ただし、「【】」(日本工業規格X0208区点番号(以下「区点番号」という。)1-58)、「】」(区点番号1-59)、「▲」(区点番号2-5)及び「▼」(区点番号2-7)は用いてはならない(欄名の前後に「【】」(区点番号1-58)及び「】」(区点番号1-59)を、又は置き換えた文字の前後に「▲」(区点番号2-5)及び「▼」(区点番号2-7)を用いるときを除く。)  
日本工業規格X0208で定められている文字以外の文字を用いようとするときは、日本工業規格X0208で定められている漢字に置き換えて記録し、又はその読みを平仮名で記録し、それらの前に「▲」(区点番号2-5)、後ろに「▼」(区点番号2-7)を付すこと。
- 4 「〈〉」、「」又は「〈〉及び」によって囲まれた欄名は、日本工業規格X0201で定められている文字を用いること。
- 5 「【様式番号】」の欄には、日本工業規格X0201で定められている文字を用いること。
- 6 文字の符号化表現は、日本工業規格X0208附属書1で定められている方式を用いること。
- 7 「【支払等の相手方の氏名又は名称】」及び「【支払等の相手方の住所・居所又は所在地】」の欄は外国語で記録する場合には、日本工業規格X0201で定められている文字を用いても差し支えない。